

事業承継が円滑に進む  
ポイントとアドバイス  
(引き受け者へ)

# 八方よしの考えで承継する企業の状態を知る

参考: 持続可能な資本主義

企業を取り巻く環境のどこかを犠牲にしては事業の継続が難しくなる。  
大きく欠けている所はないか判断する

- 経営者

企業を正しい方向に導く計画を立て実行し経営を行う。  
八方よしのなかで経営者だけは寿命がある。

- 社員とその家族

働く生きがいを与えることと社員の生活を守り豊かにする

- 取引先

お互いに協力し目標の達成し取引の継続と発展をしていく

- 銀行

安心した経営を行い資金提供のメリットを提供する

- 顧客

顧客の要望に答え商品販売する

- 地域

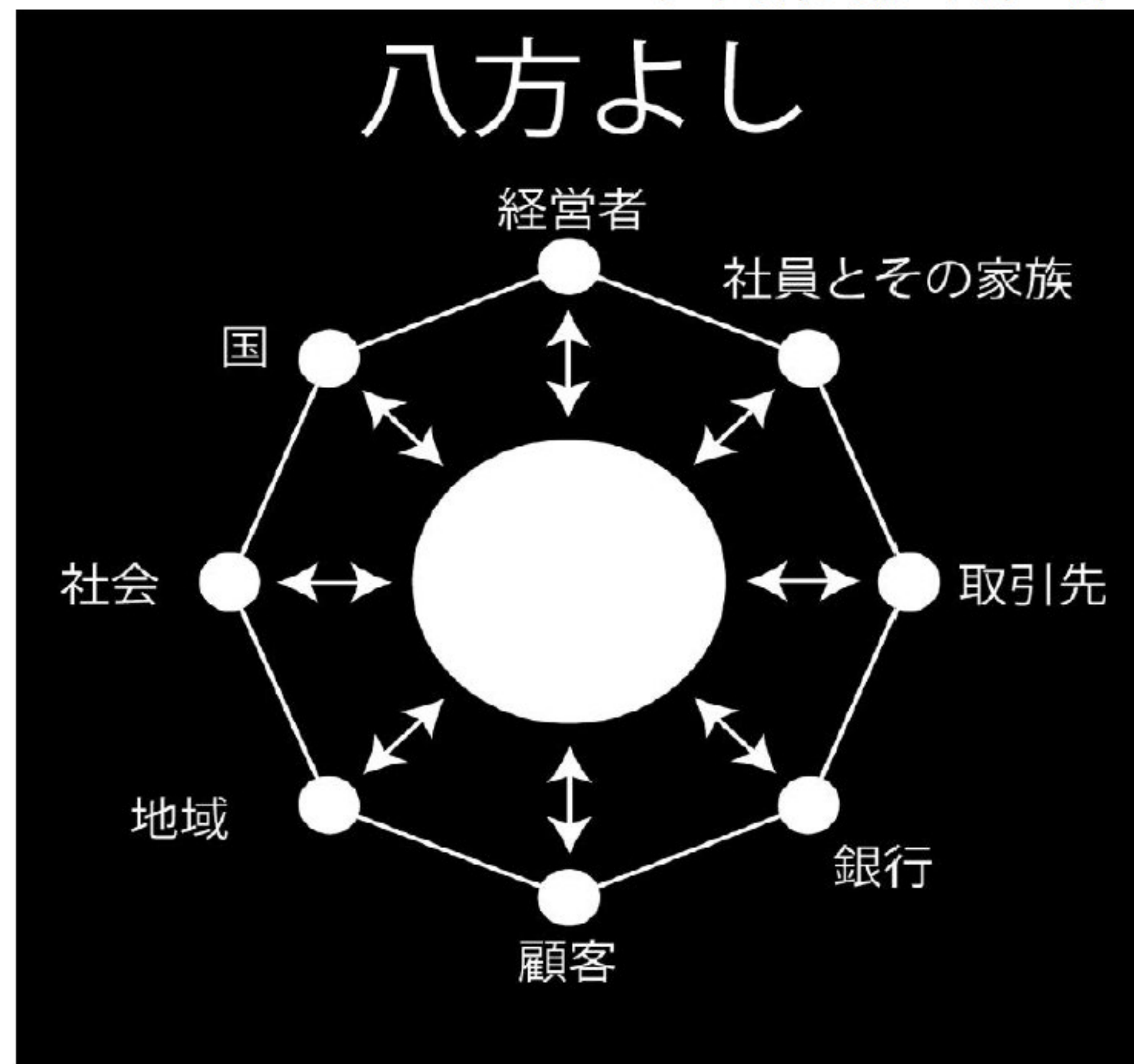
地域に根ざしその地域にはなくてはならない企業になる

- 社会

事業で得た利益をもとに社会貢献に尽くす

- 国

企業の義務である納税を滞りなくおこなう





# 資産の把握

- ・現状の事業のみで安定した利益が見込めるか
- ・金融負債の把握
- ・資産と負債と純資産のバランスを確認し安定した利益を出すことでお金がまわるかを把握する。

税理士に相談し第三者の意見を聞く。

# 見えない資産の把握

・ビジネスモデル、信用力、顧客とのネットワーク、地域との関係性、ノウハウなど数字にはならない資産

見えない資産は引き継ぎ者の社長個人に帰属しているケースが多いと思う。事業を承継してもついてこない場合もある。

すべてをうまく引き継ぐには想いを引き継ぐ従業員承継が最適だと思う。

この見えない資産が沢山ある企業は現状多少資産状態が悪くてもうまく資産化することで大きな利益になる。数字の判断はもちろん大事ですが目に見えない資産価値を把握し承継する事が成功のポイントだと思います。